

安全データシート

1. 化学物質等および会社情報

化学物質等(製品)の名称	塗る亜鉛テクスチャー 塗料液
会社名	ローバル株式会社
住所	大阪府枚方市野村元町 1-1
担当部門	技術サービス部
電話番号	072-894-7590
FAX 番号	072-894-7593
e-mail アドレス	jp-info@roval-group.com
緊急連絡先	072-894-7191
作成・改定・確認	2025年3月17日
製品の種類	水系有機形ジンクリッチペイント(高濃度亜鉛未塗料)用塗料液
用途と使用上の制限	内外装用 水性デザイン金属塗料

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性		分類対象外			
健康有害性	急性毒性				
	経口	経皮	吸入(気体)	吸入(蒸気)	吸入(粉塵又はミスト)
	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	呼吸器感作性又は皮膚感作性		
			固体/液体	気体	皮膚感作性
	分類できない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	授乳に対する又は授乳を介した影響	
	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1	区分2 呼吸器系		区分3
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1	区分2 呼吸器系		
誤えん有害性	水性環境有害性 短期(急性)	水性環境有害性 長期(慢性)		オゾン層への有害性	
分類できない	分類できない	分類できない		分類できない	

【GHSラベル要素】

「絵表示」



警告

「注意喚起語」

「危険有害性情報」

- ・眼刺激 ・臓器(呼吸器系)の障害のおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系)の障害のおそれ

「注意書き」

【安全対策】 ●使用前に製品カタログ、施工仕様書等を入手すること。 ●全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 ●粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 ●保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 ●取扱い後は手をよく洗うこと。

【応急措置】 ●眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ●気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。 ●目の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。

【保管(貯蔵)】 ●施錠して保管すること。

【廃棄】 ●内容物/容器を法令に従って適切に廃棄すること。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

物質名	成分(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	PRTR 法
プロピレングリコール モノメチルエーテル	10 ~ 11	107-98-2	(2)-404, (7)-97	該当せず

4. 応急措置

- 吸入した場合** : 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合** : 付着物を布にて素早く拭き取ること。大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。溶剤、シンナーは使用しないこと。外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合** : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
- 衣類にかかった場合** : 服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類及び皮膚を多量の水で洗うこと。
- 飲み込んだ場合** : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 応急措置をする者** : 適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用すること。換気を行うこと。

5. 火災時の措置

- 【適切な消火剤】** 全ての消火剤（※この製品自体は燃焼しない。）
- 【使ってはならない消火剤】** 特になし。
- 【特有の消火方法、消火を行う者の保護】** 特になし。

6. 漏出時の措置

- 【人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置】**
作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用すること。屋内では換気をしっかり行うこと。屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行うこと。周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。
- 【環境に対する注意事項】** 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意すること。
- 【封じ込めおよび浄化の方法・機材】**
漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐこと。水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 【取扱い】**
換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓すること。
取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。
- 【保管】**
日光の直射を避ける。通風の良いところに保管すること。漏れ、あふれ、飛散しないよう必要な処置を講ずること。盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

物質名	管理濃度	許容濃度	
		日本産衛学会	ACGIH
プロピレングリコール モノメチルエーテル	—	—	50 ppm(TWA)

- 【設備対策】**
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

【保護具】

- 呼吸器の保護具 : その有害性物質に対して適切な保護のできる保護マスクを着用すること。
- 手の保護具 : 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 目の保護具 : 取扱いには保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品がしない材質であることが望ましい。
- その他 : 静電塗装作業を行う場合には、帯電防止服、静電靴を着用すること。

9. 物理的及び化学的性状

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 物理的性状(状態) | : 液体 | 物理的性状(色) | : シルバー色 |
| 臭い | : 特有な臭い | 沸点 | : データなし |
| 可燃性 | : データなし | 爆発範囲 | : データなし |
| 引火点 | : データなし | 自然発火点 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし | 動粘性率 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし | 密度 (g/ml) | : 1.1 |
| 相対ガス密度 | : データなし | | |

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 自己反応性なし。
- 化学的安定性 : 通常の手扱いにおいては安定である。
- 危険有害反応可能性 : データ無し。
- 避けるべき条件 : 直射日光。
- 混触危険物質 : データ無し。
- 危険有害な分解生成物 : 燃焼により、CO、NOx を発生する。

11. 有害性情報

【急性毒性】

物質名	経口	区分	経皮	区分
プロピレングリコール モノメチルエーテル	5.2 g/kg	区分に該当しない	13.0 g/kg	区分に該当しない

【急性毒性】

物質名	吸入(気体)	区分	吸入(蒸気)	区分	吸入(粉じん,ミスト)	区分
プロピレングリコール モノメチルエーテル	区分に該当しない		6038 ppm	区分 4	分類できない	

物質名	皮膚腐食・刺激	眼損傷・刺激	呼吸器感作性	皮膚感作性
プロピレングリコール モノメチルエーテル	区分に該当しない	区分 2B	分類できない	分類できない

物質名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
プロピレングリコール モノメチルエーテル	分類できない	分類できない	区分に該当しない

物質名	特定標的臓器 (単回)	特定標的臓器 (反復)	誤えん有害性
プロピレングリコール モノメチルエーテル	区分 3 (麻酔作用)	区分に該当しない	分類できない

1 2. 環境影響情報

一般注意事項 : 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱に注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。

物質名	水生環境有害性 短期 (急性)	水生環境有害性 長期 (慢性)	オゾン層への有害性
プロピレングリコール モノメチルエーテル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

生態毒性 : データなし

残留性・分解性 : データなし

生態蓄積性 : データなし

土壤中の移動性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

【残余廃棄物、汚染容器及び包装】

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をすること。容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。空容器は内容を完全に除去してから処分すること。空容器・包装等はリサイクルを推奨すること。ダイオキシンなどの有害ガスが発生するおそれがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 国連番号に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 危険な荷物には該当しない。

1 5. 適用法令

消防法 : 非危険物
労働安全衛生法 : 名称等を表示・通知すべき有害物質 (プロピレングリコールモノメチルエーテル)
労働安全衛生法 (有機則) : 該当しない
労働安全衛生法 (特化則) : 該当しない
化学物質管理促進法 (PRTR 法) : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
海洋汚染防止法 : 該当しない
航空法 : 該当しない
船舶安全法 : 該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物 廃プラスチック類
※詳細につきましては、各地方自治体廃棄物担当部門までお問い合わせください。

1 6. その他の情報

【注意事項】

本データシートは、作成時または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報を集めて作成しておりますが、すべての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改定いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

【参考資料】

中央労働災害防止協会安全衛生情報センター GHS モデル SDS 情報
製品評価技術基盤機構 GHS データベース他
国際化学物質安全性カード (ICSC)、Hazardous Substances Data Bank (HSDB)
(一社)日本塗料工業会 SDS 用化学物質データベース (塗料用)
原料供給者から提供された安全データシート

以 上